

ニ三月四日許可アリタリ全日廢道路敷無償譲与ノ義許可申請宇川中島耕地千七百四十四番ノ七地先ヨリ千七百四十五番ノ一地先ニ至ル廢道路敷長三十五間ノ廢止許可ヲ申請シタルニ三月四日許可アリタリ一月十五日廢道路敷無償譲与許可申請宇川中島耕地千七百三十八番ノ六地先廢道路敷長二十六間ノ廢止許可ヲ申請シタルニ六月十日許可アリタリ〔以上新築役場敷地〕四月十二日宇江川町耕地内石橋修繕工事五ヶ所ノ修繕工事ヲ区長松本文次郎ニ請負ハセ六月二十九日竣功シタリ六月一日本村〔大師裏門〕宇川中島用水石橋外五ヶ所修繕工事ヲ松本喜久藏ニ請負ハセ六月七日竣功シタリ七月十一日本村小学校構内池周囲修繕工事ヲ池上鶴吉ニ請負ハセ七月十二日竣功シタリ本件ニ於テ取扱ヒタル文書收受七十件發送六十二件ナリ

一 社 事

指定村社八幡神社ノ祈年祭例祭新嘗祭ニハ神饌帛料供進使並隨員參向シ其ノ他ノ村社祭典ニハ村長或ハ主任書記參拜シタリ三月二日東宮殿下御渡歐ニ付海陸御安全ノ祈願祭ヲ村社八幡神社ニ於テ執行
九月三日東宮殿下御帰朝奉告祭ヲ村社八幡神社ニ於テ執行
十二月十八日東宮殿下撰政御就任奉告祭ヲ村社八幡神社ニ於テ執行
右祈願祭ノ際ニハ名譽職員役場吏員軍人分會青年團員等參列シタ

リ
本項ニ関シ取扱ヒタル文書收受十五件發送二件ナリ

一 二 土 地

地目變換二十五件分筆三十七件
合筆四件免租地成一件有租地成三件荒地免租繼年期願七件土地異動通知書三十七通〔二百三十五葉〕土地登記済通知書十四通〔二八七葉〕其他雜件三十四件收受百七十二件ニシテ發送八十七件ナリ

一 三 収 税

諸稅負擔額ノ膨脹ニ伴ヒ滞納者ノ増加スルハ免レ難キ現象ナリト雖モ一ハ納稅觀念ノ乏シキニ基因スルハ言ヲ俟タス甚遺憾トスル所ナリ

大正十年中納額告知書發シタルモノ〔國稅〕五千六百九十三件徵稅伝令書發付シタルモノ〔県稅〕五千六百六十四件徵稅令書發付シタルモノ〔村稅〕五千七百五十二件督促令狀ヲ發シタルモノ百九十五件滞納処分ヲナシタルモノ一五二件ナリ此外県稅營業者ヨリ國稅ニ編入シタルモノ十八人県稅創業數二百五件同廢業數九十八件ニシテ本項ニ関シ取扱ヒタル文書ノ收受八百件發送二百五十件ナリトス

〔大正十一年他町村予算其他參考書〕飯田助丸氏藏

三〇七 橘樹郡大綱村事務報告

大正十一年自一月至十二月橘樹郡大綱村事務報告

本年中処理シタル事務ノ内庶務ニ於テハ畏クモ不世出ノ英資ヲ以テ最モ能ク崇高偉大ナル建國ノ宏願ヲ恢暢セラレタル

明治大帝ノ拾年祭ヲ舉行シ奉リ県稅戶數割ハ各府県ニ於テ當該法規
實施ニ對スル可否喧囂ノ際ニモ不拘村會議員及區長諸君ノ後援ヲ得
テ極メテ圓滿ニ賦課徵收ヲ了セリ郡制廃止ヲ控ヘテ郡會議員ノ補欠
選舉モ挙村一致ノ形式ヲ以テ無事結了シ小学校舎建築ハ本村多年ノ
懸案タリシモ拒障ナク工事ヲ進メツ、アリ伝染病ハ不幸ニシテ腸チ
フス蔓延ノ徵アリシヲ以テ警察側ト協力シテ之ガ予防撲滅ニ力ヲ致
セリ數年ノ宿題トシテ会社ト交渉ヲ重ネツ、アリシ電燈供給問題ハ
幾多ノ迂余曲折ヲ經テ遂ニ戸數六百燈數一千二百燦トシテ文化ノ輝
キヲ見ルニ至レリ學制發布五十年記念ヲ祝賀スル為メ各団体連合ノ
大運動會ヲ開キタリ其ノ他一般事業モ亦世進ノ進歩ニ伴ヒ時務ノ分
量ヲ増加シ執務上繁劇ヲ加ヘタルニ吏員一同協力シテ互ニ分掌事務
以外補助シツ、勤勉以テ之ヲ処理シタリ而シテ本年中取扱ヒタル文
書類數ハ戸籍並ニ兵事ヲ別トシテ收受二千六百七十八件發送ニ於テ
七十件ヲ増シ經由ニ於テ三十二件ヲ減ス但シ文書内容ノ整理ニ依リ

件數ヲ減シタル往復文書等其分量ヲ増加セリ左ニ事務ノ種類ニ就キ
其狀況ヲ記ス

一 村 會

開會セシコト四回ニシテ大正十年度本村歳入出追加予算ノ件及大正
十一年度本村歳入出予算并ニ之ニ關係セル諸件ニ付一回大正十一年
度本村歳入出追加予算及之ニ關係セル諸件並ニ官有地讓与申請ノ件
ニ付一回大正十一年度本村歳入出追加予算ノ件並ニ之レニ關係セル
諸件及消防組設置區域追加及人員變更ノ件及大正十一年度前半期
稅戶數割大綱村賦課方法ノ件ニ付一回大正十一年度后半期縣稅戶數
割大綱村賦課方法ノ件及大正十年本村歳入出決算認定ノ件及學務委
員補欠選舉ノ件及本村稅賦課規程中改正ノ件及本村財務調查會規程
〔急施案〕ノ件ニ付一回而シテ追加予算ノ主ナルモノハ小学校舎新
築費ニ充當スル費用ナリトス

二 選 挙

十月十日村會ニ於テ學務委員補欠選舉ヲ執行シタルニ竹生源藏氏當
選セリ十一月十五日郡會議員補欠選舉ニ付當選舉區ニ於テ選舉ノ結
果竹生源藏氏當選セリ

三 吏員更迭

本村吏員中更迭シタルモノナク専ラ各員分掌事務ニ依リ精勵セシヲ

以テ県税戸数割賦課方法等非常ノ手数ト研究等ヲ要スル問題アリシ
ニ不拘別段ノ渋滞ヲ見スシテ終レリ吏員ノ勤務状況左表ノ如シ

大正十一年役場吏員勤務表

日全 数勤	出勤日 外共	全上ノ 内出張 出勤日 日数	日欠勤 日数	差		職名	氏名
				増	減		
三三	三三	三三	〇	〇	〇	村長	飯田 助夫
六七	六一	六一	〇	〇	〇	助役	黒川新太郎
三〇	三〇	三〇	〇	〇	〇	収入役	吉原愛之助
三〇	三〇	三〇	〇	〇	〇	書記	磯貝 宣栄
三〇	三〇	三〇	〇	〇	〇	全	加藤伊三郎
三〇	三〇	三〇	〇	〇	〇	全	座間 良助
三〇	三〇	三〇	〇	〇	〇	全	池谷利之助
三〇	三〇	三〇	〇	〇	〇	書記補	武田重次郎

四 庶 務

郡会議員補欠選挙ニ付九月十五日現在選挙人名簿ニ登録セラレタル
モノ二百二十二名ニシテ十一月十五日選挙会ヲ開キ投票ヲナシタル
モノ四十四名満点ヲ以テ竹生源藏氏当選ス県会議員選挙人名簿九月
十五日現在登録セラレタルモノ三百二十三名大正十一年法律第五十
五号府県制中改正法律ニ依ル分四百七十九名衆議院議員選挙人名簿
十月一日現在登録セラレタルモノ四百十四名本村戸数八十二月末日
現在七百六十五戸ナリ

予算編成其ノ他打合ノ為メ一月二十日日吉村役場ニ於テ中部村長会
ヲ開キ飯田村長出席ス全月二十一日大綱城郷両村組合会ヲ開キ管理
者選挙ノ所飯田本村長当選セリ四月一日電燈配給ノ件ニ付東京電燈
株式会社横浜支店ヨリ森田技師本村役場へ出頭アリ本村内へ電燈配
給ノ曙光ヲ見ルコトヲ得爾來引続キ会社側ト交渉ヲ重ネ十一月二十
日最後ノ協定ヲナシ直ニ外線及内部取付ニ着手シ十二月十六日電燈
点火ノ祝賀会ヲ開キ村内一般ニ文化ノ輝キヲ見ルニ至レリ四月十九
日村会議員及役場吏員合同県下優良町村事務視察ノ為メ一泊二日出
張セリ五月十六日飯田村長ハ本県ノ嘱託ニ依リ富山滋賀兵庫ノ三県
下ノ優良町村其ノ他事務視察トシテ出発二十五日帰村セリ六月二日
本村役場ニ於テ中部町村税務主任打合会ヲナシ新戸数割規則ノ研究
及打合ヲナス全月五日各区長会議ヲ開キ戸数割所得申告ノ件ニ付打
合ヲナス八月二十二日大綱消防組第四部新設小頭任命ニ対シ辞令伝
達ス九月十三日本村統計調査委員協議会ヲ開キ諸般ノ打合ヲナス九
月十四日より農政視察ノ為メ本郡農會ノ嘱託ニ依リ宮城福島地方へ
出発十八日帰村セリ十一月三日寒川村長外村会議員六名ハ本村役場
事務視察トシテ来場セラレタリ

五 戸 籍

加籍件除籍四件異動二五件入寄留三三件出寄留一二五件就籍〇件ニ

シテ本件ニ関シ收受七三件發送三二七件本村人口ハ大正十一年末五、四三一人ニシテ内男二、七九〇人女二、六四一人本年出生一九一人ノ内男九四人女九七人死亡二二〇人ノ内男六四人女五六人死産一九人ノ内男一人女七人前年ニ比シ出生ニ於テ五件ヲ減ス死亡ニ於テハ同数結婚九三件離婚七件前年ニ比シ結婚ニ於テ三件ヲ増ス離婚ニ於テ一件ヲ増ス在監人員男一人トス

六 兵 事

本年度壯丁者四十二名現役志願者一名前年延期ノ者一名ニシテ徴兵検査ヲ受クベキモノ四十四名七月二十日検査施行甲種合格十二名乙種合格十一名丙種十三名丁種二名甲種徴免四名外ニ盲者一名現役志願者ハ不合格ナリ全月二十五日抽籤ノ結果現役兵ニ徴集セラルベキモノ陸軍ニ八名海軍ニ一名補充兵役ニ編入セラレタルモノ十二人ナリ点呼召集ニアリテハ海軍簡閲点呼五月二十七日川崎町宮前小学校ニ於テ施行本村ヨリノ参会者二名点呼執行官ハ海軍中佐松山為磨氏ナリ陸軍ニアリテハ八月十四日本村小学校ニ於テ施行アルヘキ予定ナリシモ七月八日付取止通牒アリ本年ニ限り召集セラレザルコト、ナル勤務演習ノ為召集セラレタルモノ十五名ニシテ七月二十日以後八点呼召集同様取止ノ通牒ニ接ス
本年四月ヨリ馬籍法実施ニツキ馬籍作製ノ必要上六月三日篠原八幡

社境内ニ於テ県農務課技手竹内喜作氏出張ノ下□村馬匹ノ検査ヲ施行セリ全日出場馬匹二十七頭ヲ算ス更□七月二十九日第一師団地方馬検査施行手続ニ基キ保土ヶ谷町□郷村及本村ニ於ケル馬匹検査ヲ前記八幡社境内ニ施行セリ当□検査執行官第一師団地方馬検査官小岩井直氏ニシテ出□馬匹本村ノ分二十九頭中輓馬合格十二頭他ハ不合格ナリ

軍隊慰問四月廿五日ノ両日郡内各町村現役軍人慰問ノ為メ三組ニ分レテ往訪スルコト、ナル本村ヨリハ座間書記第一組ニ加ハリ歩兵第一連隊近衛野砲第一連隊野砲^一第一連隊輜重兵第一大隊近衛輜重兵大隊工兵第一大隊ノ各隊ヲ訪問セリ軍人分会會長豊島石蔵氏ハ第二組ニ加ハリ近衛歩兵隊重砲一連隊横須賀海兵団等ノ慰問ヲ了ス軍隊宿營ニ関シテハ五月二十二日陸軍士官学校輜重兵隊百八名馬匹八十二頭ハ教官山下鶴氏指揮ノ下ニ南北綱島ノ大部分ニ投宿セリ六月二十七日中野電信隊兵百八名馬匹二十二頭ハ中隊長大尉結城朝久氏指揮ノ下ニ作業実習ノ為來村大字菊名ノ大部分及大字大豆戸ノ一部ニ宿泊セリ
十月二十四日近衛歩兵第一連隊第一大隊及同第二連隊第二大隊ノ一部総員六百〇五名馬匹四十頭ハ総指揮官陸軍歩兵少佐河村勘市氏引率ノ下ニ泊行軍トシテ大字南北綱島全部ニ分宿セリ

九月十四日鶴見町総持寺ニ於テ大正十二年度ニカ、ル本村壮丁四拾四名ニ対シ花柳病及トラホームノ検診ヲ施行ストラホームニ於テ輕症患者四名擬似患者二名アリ何レモ治療券ヲ交付シ直ニ治療スベキ旨ノ注意ヲナス

十二月八日大師河原村役場ニ於テ陸軍動員事務ニ関スル師団司令部ノ檢閲ヲ受ク本年中退營婦郷セルモノ陸軍ニ於テ十四名海軍ニ於テ三名ニシテ前年以前ヨリ現役ニシテ引続キ在隊者陸軍十二名海軍六名十二月末日調在郷軍人總數三百五十七名ニシテ内現役三十二人〔婦休兵ヲ含ム〕予備役四十一人後備役百〇五人補充兵役百七十九人第一國民兵二十八名其ノ外海軍予備役ニアルモノ六人ナリ此等陸海軍人願届其ノ他ニ於テ取扱ヒタル文書類收受ニ於テ二百二十件發送三十三件トス

七 教 育

本年就学ノ告知ヲナシタル児童ノ數男五九人 女五一人計一一〇人ニシテ不就学者ナシ本年中卒業シタルモノ尋常科ニアリテハ男四五人 女四九人計九四人高等科ニアリテハ男三〇人 女八人計三八人ナリトス
 村立実業補習学校ハ青年団幹部ト氣脈ヲ通シ就学ノ督励ニ努メ前年来ヨリ引続キ優良ノ成績ヲ挙ケツ、アリ現在生徒數ハ第一実業補習学校ニ於テ九十五名第二実業補習学校ニ於テ五十〇名ニシテ一月二

十一日川島本郡長ハ補習学校視察ノ為メ出張セラレ一場ノ話ヲ生徒ニ与ヘラレタリ十月五日学制發布五十年紀念祝賀ノ為メ本村年中行事ノ一タル大運動會ハ学校側ト各種団体ノ連合運動會ヲ開催シ從來ニ稀ナル盛況且ツ活氣ヲ呈セリ

小学校舎建築ニ関シテハ一月十日学務委員會ヲ開催シ設計其ノ他ニ対スル大体ノ方針ヲ立テ爾來幾回トナク委員會ヲ開キ打合ヲナシ遂ニ十一月一日学務委員及関係者立會ノ上公入札ヲナシ其結果入札者十二名落札者ハ横浜市神奈川町酒川鶴吉氏ト決シ金貳万三千五百円ヲ以テ契約ヲ締結シ直ニ工事ニ着手シ十二月二十三日上棟式ヲ挙クル迄ノ運びニ至レリ

教育文庫、学制發布五十年記念トシテ各小学校ヘ文庫ヲ設置シ本村ノ外一般有志者ヨリ金品ヲ募集シ之レニ充テ目下其ノ整理中ニ囑セリ

児童成績展覽會ハ十二月九十兩日間尋常大綱小学校内ニ開設シ尋常高等大綱小学校ニ於テハ二月十一、十二ノ兩日間成績品展覽ヲナス連年其進歩ヲ見ルノ喜ビアリ
 教員ノ異動尋常高等大綱小学校ニアリテハ代用教員磯部義臣ハ本県師範学校第二部ニ入学ノ為三月三十一日退職セリ四月代用教員トシテ福島健赴任シ八月退職ス代用教員下川文三八五月赴任ス九月訓導

飯田トミ就職ス尋常大綱小学校ニ在リテハ三月三十一日付訓導武尾
 婦一ハ他ニ転校シ訓導程木謙造其後任トシテ赴任シ七月二十一日付
 代用教員萩原文一ハ退職シ欠員ノ儘本年ヲ終レリ

八 衛 生

春秋二期ノ清潔法ハ各衛生組合長ヲ督励シテ最モ精察ニ各部ニ分チ
 テ査察ス

伝染病患者トシテハ腸チブス患者男三人女二人ノ内死亡者男一人女
 一人トス而シテチブス発生ノ都度発生地付近住民ニ対シ警察官ト協
 力シテ綿密ナル清潔法ヲ施行シ併セテ予防注射ヲ施行ス其注射ヲ施
 行シタル員数男九十二人女九十六人ナリチブス患者付近ニハ戸毎ニ
 健康診断ヲナシ警察医ノ派遣ヲ乞ヒ警察側ト協力シテ予防撲滅ニ従
 事ス

本年四月種痘法ヲ椎橋伊東両医師ヲ囑託施行シ第一期ニテ男八十六
 名女七十六名計百六十二名第二期ニテ男六十五名女六十九名計百三
 十四名ニ施行セリトラホーム予防検診ニ関シテハ定期施行ニヨリ小
 学校生徒男六十四人女八十八人特殊業体者ニ於テ男一人女一人工場ニ
 於テ男三人女十八人壮丁男三人合計百四十九人ノ患者ヲ発見シ治療
 ノ結果大体奏効セルヲ認ム

九 勸 業

主要穀物即チ主産物タル米ニ於テハ其品種純正ヲ期シ且ツ乾燥調製
 等ヲ良好ナラシムル目的ヲ以テ本郡ニ於テハ俵米品評会ヲ大正十
 一年十二月十二日ヨリ全十六日迄ノ五日間本郡中原村安藤工場ニ於テ
 開催シタルモ本村ノ出品点数五點ニシテ受賞者左ノ如シ

一等賞田中又四郎〔篠原〕 二等賞加藤久蔵〔大豆戸〕 三等賞加
 藤定吉、小泉喜一、加藤富吉〔大豆戸〕

本年十一月十七日ヨリ三日間南綱島ニ於テ犁耕伝習会ヲ開催ス本郡
 ヨリ伝習技術員ヲ派出セラレ伝習者十六名ヲ伝タリ

本年麦酒麦共同販売ニ関シテハ昨年来ヨリ一般麦相場ノ下落ニ鑒ミ
 生産者ノ作付減少シ麦酒麦ノ如キモ生産者僅ニ四名ニシテ麒麟麦酒
 株式会社ニ渡シタル数量七石五斗此代金七拾七円七拾錢

本年播キ残葱頭種売払方ヲ申込ムモノアリ各地方農會ハ幹旋シタル
 ニ左記農會ヨリ希望申出タルニ付一升ノ価七円ニテ鎌倉郡中郡高座
 郡埼玉県地方へ売渡シタル数量一斗八合此代金七拾五円六十錢ナリ
 稲螟虫駆除ニ就テハ苗代期ニ於テ病虫害予防委員ハ小学校職員及農
 會役員ト協力シテ生徒及一般農家ヲシテ卵蛾ヲ採捕セシメタルニ採
 卵四万二千〇〇二塊捕蛾一万六千三百四十九個ニシテ昨年ニ比シ卵
 ニ於テ一万九千九百五十五塊ヲ増シ蛾ニ於テ八百九十二個ヲ増ス
 大正十年三月末日菜園基本調査ニ於テハ全菜園反別二十五町九反九

歩ナリシモ其后廃止セルモノ六町一反アリ大正十一年十月末ニ於テ
現在菜園十九町八反九歩トナレリ

一〇 土 木

尋常高等大綱小学校舎建築ニ伴フ諸般ノ設置ヲナス

一一 社 寺

社寺境内枯損木伐採ニ関シ四件神社財産登録抹消申請一件寺院土地
無償交換一件村社氏子総代改選ノ件一、住職届一、兼務住職届一、

檀家総代改選届一件ナリトス

一二 土 地

土地ニ関シテハ売買ニ於テ八百十四筆道路成百四拾二筆田一反四畝
貳拾六歩畑一畝十九歩開墾成功二十五筆畑貳町七反三畝十九歩山ヨ
リ畑ニ入ルモノナリ分筆五十三筆合筆三十四筆地目交換十四筆二千
三百三十五坪九合貳夕畑ヨリ宅地成ノモノ四百九十二坪二合五夕田
ヨリ宅地成ノモノ同地目交換十五筆三反六畝二十九歩田ヨリ畑ニ成
ル九畝二十九歩宅地ヨリ畑ニ成ル四十四坪五合九夕山林原野ヨリ宅
地ト成ルモノ地類交換十一筆貳反七畝十四歩畑ヨリ山ニ成ルモノ壹
町五反六畝廿四歩田ヨリ原野ニ成ルモノ等ニシテ合計千百六件トス

一三 収 税

国税十年完納ノ件一月十日郡役所ニ於ケル町村長会ノ席上神奈川税

務署長ヨリ本村ガ既往拾ケ年間国税完納ノ成績ニ対シ稅務監督局ヨ
リノ表彰状ヲ交付セラレタリ

諸稅共前年ニ比シ物価動揺財界變動ノ影響ヲ受ケ県村稅ニ対シ延納
スルモノ漸次増加スルモ主任者ヲシテ二十數回出張徵收ヲ行ヒタル
結果漸次減少ノ狀況ナルモ国税ニ於テ一年ヲ通シテ滞納報告ヲナシ
タルモノ四人アルモ之等ハ皆他町村民ナリ

県稅ニ於テ前期后期ヲ通シテ滞納報告ヲナシタルモノ五十二人村稅
ニ於テ滞納処分執行ヲ囑託シタルモノ三件何レモ他町村民ナリ本
村民ニシテ吏員派遣督促ヲナシタルモノ百六十五人徵稅伝令書ヲ
發シタル數国税ニ於テ六千九百九十四件県稅八千九百九十九件
諸收入ニ於テ四百四十五件本項ニ関シ取扱ヒタル文書ノ數收受ニ於
テ六百五十三件前年ニ比シ四百十三件増發送百四十一件前年ニ比シ
二十件増ナリ

一四 会 計

一 国税收入高金壹万三千七百八十錢 納付金額

一 県稅收入高金貳万四千七百六十八錢 納付金額

一 村稅收入高金四万六千二百九十九圓三十四錢

一 交付金三百六十七圓七十二錢 (四月以降交付金十一年度收入トス)

一 交付金三百六十七圓七十二錢 (四月以降交付金十一年度收入トス)

一 交付金三百六十七圓七十二錢 (四月以降交付金十一年度收入トス)

一 交付金三百六十七圓七十二錢 (四月以降交付金十一年度收入トス)

一 交付金三百六十七圓七十二錢 (四月以降交付金十一年度收入トス)

一 交付金三百六十七圓七十二錢 (四月以降交付金十一年度收入トス)

一 交付金三百六十七圓七十二錢 (四月以降交付金十一年度收入トス)

一 交付金三百六十七圓七十二錢 (四月以降交付金十一年度收入トス)

一 交付金三百六十七圓七十二錢 (四月以降交付金十一年度收入トス)

一 交付金三百六十七圓七十二錢 (四月以降交付金十一年度收入トス)

一 交付金三百六十七圓七十二錢 (四月以降交付金十一年度收入トス)

- 一 教員恩給基金七十六円八十七銭
- 一 支払高金三万六千四百六十三円九十一銭
- 一五 財 産

長ノ許可ヲ得テ繰入ヲナシタルモノ金二千七百円十二月末現在金
 一千〇八十七円三十七銭ナリ
 右町村制第百十三条ニ依リ及報告候也

大正十年度基本財産トシテ編入ヲナシタル金高千七百七円五十銭ニ

大正十二年二月二十七日提出

シテ合計金三千七百八十九円三十七銭其ノ内小学校建築ノ為メニ郡

橘樹郡大綱村長 飯田助夫

大正十一年末物件現在表

大綱村役場

字名/種目	戸数	荷積小車	自転車	オートバイ	貨物用	人力	小牛車	四リン馬力	二リン馬力	大牛車	日本形船	小廻船	番犬
白幡	七五	二四	一四				一	二	六				五
篠原	一八七	一一〇	三六				三	一	二				六
菊名	六四	四〇	二五				一	一	一				二
大豆戸	六七	四五	二〇				一	一	三				二
大尾	一三	九一	五一				七	一	四				二
大曾根	四四	三一	一八						三				三
樽島	六八	五六	三四					一	九				二
南網島	一一	七八	七二						二				四
北網島	五五	五〇	四三				八		七				二
合計	七九四	五二五	三二三	二	八	四	九	四	二七	五	二	三	二

十一年度中ニ自転車百二十一輛増 貨物運搬用自転車六 小牛車二十一 オートバイ一増加ス

〔閲議會書類〕(大正二二年) 飯田助丸氏蔵

二六 橘樹郡町村長会における町村行政事務関

係指示事項

指示事項〔大正十二年四月十三日町村長会〕

町村役場事務整理ニ関スル件

町村役場事務ハ日ニ月ニ其ノ件数ヲ増加シ益複雑トナルハ時勢ノ進展ト共ニ止ムヲ得サルモノトス而テ此ノ複雑繁多ナル事務ヲ正確敏速ニ処理スルハ各位ノ努力ニ依ルハ勿論良ク吏員ヲシテ常ニ担当事務ノ研究ヲナシ且ツ其ノ機会ヲ与ヘ専心町村ノ為執務方督励セラレ且優遇ノ途ヲ講セラル、等常ニ留意セラレンコトヲ望ム

県ハ本年七、八月ノ時期ニ於テ本郡各町村役場事務ノ集合検閲ヲ施行セラレントス各位ハ此際各担任者ノ事務ヲ精査シ苟モ不適法ノ措置ナカラシムル様整理ヲ望ム

町村予算決算ニ関スル件

大正十年度決算並大正十二年度予算ハ目下調査集計中ニ属スルモ逐年経費ノ膨脹ヲ来シ其ノ負担漸次増加シツ、アリ各位ハ町村ノ発展ト公益事業ノ計画ニ積極的ノ増進ヲ計ルト共ニ消費ノ節約ニ事業ノ整理ニ経費ノ軽減ヲ計リ町村民ノ負担軽減ニ留意セラルベク猶大正十一年度決算ニ付テハ出納閉鎖切迫ノ時ニ當リ適法ナル収支ヲ完了

セシムル様留意ヲ望ム

公営造物維持保存ニ関スル件

学校舎役場其ノ他町村營造物器具器械等維持保存ニ関シテハ常ニ深甚ノ注意ヲ払ハレツ、アリト雖小破ヲ等閑ニ付シ為ニ意外ノ損失ヲ来シタル類例他ニ少ナカラス各位ハ常ニ細微ノ破損ニ留意シ維持保存ノ完備ニ努メラルヘシ

報告書類等期限履行ニ関スル件

定期報告其ノ他期限アル回答類ハ期限ヲ愆ラサル様処理セラレンコトヲ望ム

徴稅事務ニ関スル件

県稅及町村稅成績ノ良否ハ県、町、村万般ノ施設經營上ニ至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ納期内完納滯納整理ニ関シテハ常ニ苦慮セラル、処ナルモ未タ充分ノ実績ヲ挙クルニ至ラサルハ誠ニ遺憾トスル所ナリ畢竟滯納ノ原因ハ逐年納稅義務者ノ負担増加セルト財界不況トハ其一因タルヘキモ概シテ納稅義務者力其ノ義務ヲ忽緒ニ付スルニ職由セスンハアラス是レカ矯弊ニ関シテハ納稅組合或ハ伍人組合等ヲ組織シ又ハ青年会、在郷軍人会等ニ於ケル講習、講話ノ機ヲ善用シ納稅觀念ヲ鼓吹スル等主トシテ当局者ノ懇切ナル指導其ノ宜シキヲ得テ納稅ノ重ンスヘキコトヲ自覺シ以テ納期内完納ノ好成绩ヲ挙げ

得へキモノト信ス格段ノ奮励努力アラシコトヲ望ム

地租額及倉庫坪数報告ニ関スル件

郡部県税取扱手續第六條及第七條ノ二ニヨリ毎期賦課期日現在ノ地租額及倉庫坪数ヲ賦課期日後三日以内ニ報告セラルヘキ規程ナルニ依リ其ノ期限勵行方ニ関シテハ毎稅務主任會議ノ節主任者ニ對シ直接注意スル所ナルニ不拘今ニ四月一日現在ノ報告ナキ向アリ調定上洵ニ差支フルヲ以テ爾今期日內ニ報告方留意セラルト全時ニ未報告ノ町村ハ直チニ報告セラルヘシ

私人建物稅其ノ他課稅標準額届ノ件

客年三月三十一日県令第二十九号ヲ以テ県稅取締規則ノ一部ヲ改正セラレ県稅私人建物稅及營業稅法第二十一條第二項該當者ノ県稅課稅標準額届書ハ本月二十日迄ニ届出ヘキコト、ナリタルモ今ニ其届出僅少ニシテ注意方徹底セサル感アリ又届出ヲナスモ資本金額欄内ニ資本金ト払込済資本金額ノ區別ナキモノ及何等理由ナクシテ前年度ヨリ賃貸價格ノ著シク減少シタルモノ等ニテ符箋返却ヲナスモノ多キニヨリ之等ニ對シテハ客年四月二十八日付戊橋稅收第六二七号通牒ノ様式ニ依リ期日迄ニ届出方納稅義務者ニ篤ト注意ヲ望ム

協 議 案

一 町村役場事務研究会創設ニ関スル件

(指示事項並視察書類) (大正一二年) 飯田助丸氏蔵

二四九 神奈川県町村長会における地租委譲 農村

振興宣言および協議事項

第四回通常總會 大正十二年四月七日高座郡藤沢町県立湘南中学校
ニ於テ第四回通常總會ヲ開ク

(中 略)

午後一時議事ニ先立ち左ノ宣言ヲ可決シ続イテ中央報徳會講師村田字一郎氏ノ地方自治ノ向上ニ関スル有益ナル講演アリ午後三時半散會

宣 言

政府ハ農村ノ現状ニ鑑ミ此ノ際速ニ応急的救済ノ方策ヲ講スルト共ニ大正十三年度ニ於テ地租委讓問題ヲ決行シ根本的農村振興ノ実ヲ挙クヘシ

大正十二年四月七日

神奈川県町村長會

四月八日午前十時前日ニ引続キ開會出席者九十八名會員ヨリ提出ノ議案ニ付審議シ左ノ五件ヲ可決シタリ

一 人口二万以上ノ町村ニ対シテハ市制ニ準シ町村会ニ議長副議長ヲ特置スルコトヲ得ル様其ノ筋ニ上申スル件〔橋樹郡川崎町長提出〕

二 穀物移出検査手数料徴収事務取扱ニ対シ町村ニ相当交付金ヲ与ヘラレムコトヲ県当局ニ申請ノ件〔橋樹郡大綱村長提出〕

三 汚物掃除監視吏員ノ俸給額ハ之ヲ数階級ニ区分シ県下一般ニ通スルモノト為ス様令規改正方ヲ県当局ニ申請スル件〔三浦郡町村長會提出〕

四 田租第一期ノ納期限「其ノ年十二月十六日ヨリ翌年一月十五日限」トアルヲ「翌年一月一日ヨリ同一月末日限」ト改正スル様其ノ筋ニ意見上申ノ件〔高座郡大沢村長提出〕

五 恩賜財団済生会救療費ノ制限額〔規程第六條〕ヲ拡張シ貧民患者ノ医療救護ヲ徹底セシムル様改正方ヲ県ニ意見上申ノ件〔高座郡町村長會提出〕

外ニ高座郡茅ヶ崎町長新田信氏提案ノ町村長吏員ヲ優遇シ且ツ相互救済ノ実ヲ挙ケ以テ自治行政ノ進歩發達ヲ期スル為メ県ノ区域ヲ單位トスル町村吏員共済會ヲ設置スル事ハ慎重調査攻究ヲ要スルモノトシ十一名ノ各郡常任幹事ニ付託シ調査ノ結查報告ヲ待ツテ可否ヲ決スル事ト為リ

午後三時閉會 当日松原内務部長臨席一場ノ講演アリタリ
大正十二年五月中通常總會ノ決議事項ノ貫徹ヲ期スル為メ神奈川県知事ニ対シ上申書ヲ提出セリ

同年七月十六日日本會宣言ノ趣旨ニ基キ政府ノ反省考慮ヲ促カス為メ租及營業稅地方委讓ノ件ニ付左ノ委員ヲ選ヒ内務大藏兩省及各政黨本部ヲ歴訪シテ陳情スルトコロアリタリ

- | | | |
|-------|--------|--------|
| 金子賢次郎 | 小林五助 | 遠藤稻作 |
| 早川義雄 | 安西福太郎 | 金子角之助 |
| 菅沼保之輔 | 遠藤好右衛門 | 長谷川弥三郎 |
| 後藤宗七 | 田野倉彦太郎 | |

然ルニ其ノ後加藤内閣ノ総辭職ニ因リ後繼内閣組織中ニ當リ九月一日ノ大震災ニ逢ヒ翌九月二日山本内閣ノ成立ヲ見ルニ至リタルト雖震災善後ノ措置ニ忙殺セラレ他ヲ省ミルノ遑ナク又本會トシテモ罹災町村及罹災民救済ノ為ニ新ナル活動ヲ要スルコト、ナリタルヲ以テ一先同問題ニ対スル運動ヲ中止スルノ止ムナキニ至リタリ

(注) 神奈川県町村長會「大正十二年度會務報告」の抜萃。

(神奈川県町村長會議書類) (大正九―昭和九年大磯町役場蔵)